

# 地方創生対策特別委員会会議記録

地方創生対策特別委員長 井上 伸史

## 1 日 時

平成28年12月7日（水） 午後3時45分から  
午後3時57分まで

## 2 場 所

第5委員会室

## 3 出席した委員の氏名

井上伸史、濱田洋、井上明夫、油布勝秀、衛藤明和、木田昇、二ノ宮健治、  
原田孝司、平岩純子、河野成司、佐々木敏夫

## 4 欠席した委員の氏名

な し

## 5 出席した委員外議員の氏名

な し

## 6 出席した執行部関係者の職・氏名

な し

## 7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

## 8 会議の概要及び結果

(1) 本委員会の報告書について協議し、案のとおり決定した。

## 9 その他必要な事項

な し

## 10 担当書記

政策調査課調査広報班	主幹	飛河敦子
政策調査課政策法務班	主幹（総括）	南光彦
議事課委員会班	主任	木付浩介

# 地方創生対策特別委員会次第

日時：平成28年12月7日（水）本会議終了後

場所：第5委員会室

1 開 会

2 付託事件について

(1) 報告書（案）について

3 そ の 他

4 閉 会

## 会議の概要及び結果

**井上委員長** ただいまから委員会を開きます。

濱田副委員長は少しおくれるというようなことでございます。

本日は、本委員会の報告書の検討を行いたいと思います。

報告書の案件につきましては、前回の当委員会で協議会后、執行部にも確認依頼をし、11月末日までに各委員に検討をお願いしておりました。

委員の皆さんからご指摘のあった内容や、時点修正を行った報告書（案）を本日お配りいたしております。つきましては、前回からの修正箇所等を事務局から説明させますので、その後、各委員から最終案について、ご意見を伺いたいと思いますが、よろしく願いいたします。

それでは、報告書の案等につきまして、事務局より説明をお願いいたします。どうぞ。

〔事務局説明〕

**井上委員長** 修正したという項目だけで説明は簡単でございましたけれども、委員さんの意見をお伺いしたいと思います。

**木田委員** 7ページの提言Ⅰの（1）ですけれども、ピンク色の前段の4行は、私がこういうふうな修正でいったらどうだろうかというのがそのまま入っているんですけれども、もう一文、私は修正というか、案を出させていただいたんですが、その文言が入っていないからですね。

前回の委員会で、ちょっと私がこういった考え方がいいんじゃないかということをお話したんですけれども、それを文書で出したんですけれども、それがちょっと抜けているというか、入っていないので、議論をいただきたい、聞きたいなというのがございまして、PDCAで当然、もう実施段階に入っているの、今、チェック段階に入っているということで、じゃ、そのチェックをきかせるためには、先ほどKPIの完成状況の公表も、それは当然当たり前のことだと思うんですけれども、前回お話ししたのは、他県と比べて大分の取り組みが今どうなのかというところを評価する必要があるんじゃないですかというところを加えて、この総合戦略の進捗管理を評価すべきじゃないかということをお話をさせていただいたんですが、その分がちょっと入っていないんですね。文書で出すのは出したんですけどね。

**井上委員長** その辺については、結局、どうなんですか。

**事務局** そうですね、まずは31年度を目標に、例えば、こちらの別紙でお配りした資料ですね。これが執行部が最近、進捗状況をということでもとめて、ホームページで公表しているものであります。

これまでは、5年間のうちの各年度の目標値が対外的に明確にされていないということで、そこは進捗を検証する上で重要じゃないかというような河野委員のご意見等もございまして、調査を進めてきたところではあります。

執行部のほうも、そういったご意見も踏まえまして、こういう資料を作成して公表するように至ったという経緯がございます。

31年度を目標に、このリストを目指して頑張っていこうということになっております。そうしたときに、まずは、この目標値に対して、達成状況がどうなのかというのがあって、その上で他県と比較した上で、その達成した目標が全国レベルで高いのか低いのか、その次のステップが木田委員の言われたご意見になるんじゃないかというふうに考えています。

ですので、最初から他県と比較した中で頑張っていくべきだというふうな提言も可能だとは思いますが、まず「2015」の趣旨として、自分たちが立てた目標に対して、どう進捗しているのかというところで執行部は進めているので、それを見守ったらどうかというのが事務局の考えであります。

もう1つ付言させていただければ、今回、最終的にこの報告書を決定していただきましたものを、知事に対して提言することになっていきます。年度末に執行状況、この提言に対する取り組みを、また後ほどスケジュールのところでご協議させていただきますけれども、年度末に取り組み状況について執行部から聴取する機会を設けたいというふうに思っております。

その中で、取り組み状況を聞いた上で、木田委員が言われるような他県との比較についても考えるべきだということで、その意見交換の中で提言するといったことは可能ではあると考えておりますので、まずは、今の当委員会の報告としては、自分たちが立てた目標について、どう進捗管理をしていくのかというところを重点に提言したらどうかというところがございますが、委員の皆様……。

**井上委員長** 経過については、いわゆる調査の上で、今後そういった他県との関係については、後日そういった状況の中の報告をするという段階に行くということによろしいですか。

**木田委員** 済みません、私、厳しい言い方ですよ、これは事務方から見ると、毎年やっぱりちゃんと比べて、自分たちがどこまでできているのかというのは、やっぱり毎年指標を見て、新たな指標も見必要があると思うし、この指標ももちろん、当然自分たちが決めた目標ですから、今どこまでできているかというチェックは当たり前ですけれども、加えて、じゃ、大分はまだ不足しているところはないですかという検証を毎年どこかでしないと、この総合戦略というのは、人口減少に歯どめをかけるための戦略なので、それが成果を上げていかないんじゃないですかということをやっぱり提言として、チェック側としてはやるべきじゃないかということを経年ごとなのでね、毎年やっぱりそういう検証をすべきだということを入れておかないとどうなのかということです。

そういう5年間同じ目標の勢いのまま、5年間、じゃできたよね、できてないよねということでずうっと行くのかじゃなくて、やっぱり毎年この目標自体も見直す評価も私は作業として必要じゃないかということをつけ加えて。

**井上委員長** 事務局でそういったことを含めて、ちょっと検討を、内部でどういう表現がいいか。

**佐々木委員** 今回はいいんじゃないの。

**事務局** そこまで踏み込んだほうがいいということであれば、もうそういった方向で、ちょっと委員長と相談させていただいて。

**井上委員長** そういったことも含めて相談して検討してみたいと思います。ほかに。

**佐々木委員** 結局、それをやると執行部の目標を今、他県と比べて、何が劣っているか、

執行部の方針を修正しようという意味にも（「なってしまう」と言う者あり）つながってくるわけやろ。

**事務局** はい、また、多分そういう他県のデータがそろそろ――出生率等であれば、全国の率が出てきますけれども、それ以外の項目で他県のデータがそろそろかという問題も一方あります。そのところだけを比較して、そろわないところはもういいんだ、それはもう自己評価でいいんだというところによしとするのかという問題もまた別に発生してきますので、トータルでどこまでどう整理するかという……

**佐々木委員** だから、完璧な執行部の資料で目標があればいいんでしょうけど、これはこれでやって、または議会の一般質問でやろうが、常任委員会でやろうが、特別委員会で足りない分はこうしたらどうかという補完しながら進んでいったならば、そして、検証も他県の視察やらインターネットやらの情報の中で、こんなやつもあるじゃないかという、そういうことでいいんじゃないかな。

**井上委員長** その後、検討を踏まえてやっていくということですね。

ほかにございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**井上委員長** それでは、ほかに意見がないようでございますので、これをもちまして最終の報告書とさせていただきますと思います。

なお、この報告書は、今定例会の閉会日の本会議においてご報告し、その後、私から知事への提言を行うことといたしております。

今後のスケジュールにつきましては、資料2の3をごらんいただきたいと思います。

当委員会は、来年の3月31日まで設置となっております。最後の会合として、平成29年第1回定例会で、提言に対する執行部からの措置状況を報告してもらうことを考えております。これで進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**井上委員長** 異議がないようでございますので、そのようにさせていただきます。

日程につきましては、事務局に調整をさせます。

そのほか、何かございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**井上委員長** 別にないようでございますので、これをもって本日の委員会を終わります。ありがとうございました。